

2008年度バイオクライマティックデザイン小委員会 第5回議事録

日時：2009年3月26日 17:00-19:30

場所：建築会館

出席者：

岩松俊哉（武蔵工業大学）、北瀬幹哉（環デザイン舎）、小玉祐一郎（神戸芸術工科大学）、斉藤雅也（札幌市立大学）、菅原正則（宮城県立大学）、鈴木伸恵（武蔵工業大学）、高橋達（東海大学）、須永修通（首都大学東京）、辻原真規彦（熊本県立大学）、長谷川兼一（秋田県立大学）、廣谷純子（オーガニックテーブル（株））、宇野朋子（東京文化財研究所）

資料：

- 5-1 議事次第
- 5-2 出版用資料（企画案 ver.5）：長谷川委員
- 5-3 出版用資料（つくばの家のバイオクライマティックデザイン1）：北瀬委員
- 5-4 出版用資料（つくばの家のバイオクライマティックデザイン2）
- 5-5 出版用資料（つくばの家のバイオクライマティックデザイン3）
- 5-6 事例リスト
- 5-7 気候区分・用途による事例分類
- 5-8 「密集した村落の風・熱環境」発表用資料：辻原委員
- 5-9 「集合住宅の涼房に関する住みこなしの事例研究」発表用資料：高橋先生

お知らせ：

- (1) 建築学会環境工学用教材について  
委員会できりまとめて執筆する。
- (2) 熱シンポについて  
小玉委員、鈴木先生委員、事例を紹介する。深澤委員から温熱感についての発表を行う。

議題議事録：

出版WG：第2章（資料5-3から5-5）つくばの家の内容について検討

- ・始めに、熱損失係数など、標準的な情報。
- ・1次エネルギー消費量、快適時間率など。
- ・特徴的な要素について、説明を加える。
- ・地域の情報
- ・住まい方の特徴は？
- ・居住者の評価。時間や建物の使い方・改修によって変化してゆく様子を年表に表せるか？
- ・年代で、熱環境の変化を示す。

#### その他のコンテンツについて

- つくばの家の事例のような物が、他にもあるか？
- 蓄熱・集熱の事例 → つくばの家
- 換気・通風の事例
  - 細井先生（熊本県立大）：フジタ技研（厚木・居住者の投票（PC から）により窓の開閉を決定）
- 勝手に断熱改修 → ミース邸の改善
- 換気については、寒冷地の方が計画的に設計されている。→北総研（鈴木先生）、福島明先生の住宅。

#### 各論について

- 地域ごとに事例を集める（表）
- 2 事例程度、詳細な情報を 4-5 ページで示す。取り入れられているデザインの手法の解説
- 地域ごとに 1 例をあげ 1 ページで説明。取り入れられているデザインをアイコン化？
- 8 地域分。詳しくあげる物については、住宅がよい。ライフスタイルと絡める。
- 野沢先生の住宅
- 宇田川邸：ハイブリット床暖房（コンクリートスラブへ蓄熱・太陽エネルギー学会論文集）
- 竹田邸・放射冷房
- 中島先生：住宅・地中蓄熱（温水）床暖房
- アクティブ手法の例があっても良いのではないか。パッシブとの比較をする。
- 変化がわかるのがおもしろい。第 3 章の「計る」につなげる。

#### 第 3 章

- 計測した結果がどのように評価に結びつけられるかを示す。
- CASBEE で評価するか？評価のためにはどの項目を計測する必要があるのか？
- どこを計測するか。表面温度は？

#### 本の位置づけ

- 建築の専門家。意匠設計に携わる人。

#### 今後の全体の取り組み方。

- 1 章
- 2 章 もう一例の候補を挙げ、データ有りの物件を設定
- 3 章 計る（計り方、評価方法について検討、事例を載せる）
- パッシブデザインの説明表をつける（組み合わせが大切）

以上